

# くすっ子



鴻巣市立屈巢小学校  
学校だより  
令和4年1月11日  
No. 17

《花いっぱい 夢いっぱい 笑顔いっぱい 屈巢小》  
花をさかせる学校・夢をはぐくむ学校・笑顔あふれる学校

## 2022年は、壬寅（みずのえとら）

校長 諏訪 けん 健

新年、明けましておめでとうございます。

2022年（令和4年）を迎え、皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。今年が皆様にとりまして幸多い年となりますよう、御祈念申し上げます。また、旧年中は、本校の教育活動、とりわけ、新型コロナウイルス感染症予防のための対応に、ご理解とご協力を賜りましたこと心より御礼申し上げます。



さて、12月初めの学校だよりでお伝えいたしましたことが、現実のこととなってまいりました。1月8日現在、新型コロナウイルスの1日の感染者数が、全国で8000人を超え、埼玉県においては、300人を超える状況にあります。鴻巣市内の感染者も1月になって記録されるようになり、連日ほぼ0名だった11月・12月とは状況が違ふことが感じとれます。

こうした状況の中で、3学期をスタートすることになりますので、**学校とご家庭における感染症予防の基本的な取組を再度徹底することが、より一層大事になってまいります。**それには、本校の感染症予防の合言葉「みけまてお3」の取組を私たち（大人も子供も）一人一人が、**根気強く実施するしかありません。再度、気持ちの籠（たが）を締めなおして、第6波を乗り切りましょう。**なお、感染状況が悪化すれば、場合によっては、オンラインでの授業や家庭学習を実施することも想定しております。日頃より、ご家庭におけるタブレット使用については、約束事やWi-Fi接続（セキュリティーやフィルター設定等）について、その見届けや注意喚起をお願いしておりますが、引き続き、ご理解とご協力をよろしく願いいたします。子どもたちの学びを止めないためにできることを「オール屈巢小」で取り組みましょう。

さて、今年は、寅年（とらどし）。干支（かんし）を組み合わせると、「壬寅（みずのえとら）」となります。聞きなれない言い方ですが、よく耳にする「丙午（ひのえうま）」と同じ言い方です。「壬寅（みずのえとら）」の年は、「壬」が、女性のお腹に子供を宿す「妊」の一部であることから「生まれる」という意味があり、「寅」はもともと「演」が由来といわれ「人の前に立つ」、演と同じ読みの「延（えん）」から「延ばす・成長する」という意味があるとのことです。この2つの意味の組み合わせである「壬寅」には、「新しく立ち上がること」や「生まれたものが成長すること」といった縁起のよさがあるといえそうです。



2022年「壬寅（みずのえとら）」は、コロナ禍においても前を向いて、力強く新たなチャレンジをして、活路を見出し成長する年。本校の子ども達が、そのように取り組めるよう日々の生活を大切にさせながら、3学期の教育活動を展開してまいります。

保護者の皆様・地域の皆様のご理解とご協力を今年もどうぞよろしくお願いいたします。